

2020 年 1 月吉日

事業創造デザインプログラム（第 1 期） 実施報告

一般社団法人 社会システムデザインセンター
事業創造デザインプログラム ファシリテーター
北村和久

事業創造デザインプログラム（第 1 期） 実施報告 目次

1. プログラムの目的
2. プログラム実施概要
3. Day1 実施報告
4. Day2 実施報告
5. Day3 実施報告
6. Day4 実施報告
7. Day5 実施報告
8. Day6 実施報告
9. Day7 実施報告

1. プログラムの目的

本プログラムは、SSDC の理念である「人と社会の幸せな未来のために」に基づき企画構想されたものである。プログラム全体の目的は「事業創造のノウハウを学び、社会を豊かにする事業を生み出す」である。なお、プログラム全体は以下のように構成されている。

- ・ **Phase1（解くべき課題、解決策を探求する）：事業アイデアの探求** ※今回の実施範囲
- ・ Phase2（ビジネスプランの実現可能性を高める：事業の創造

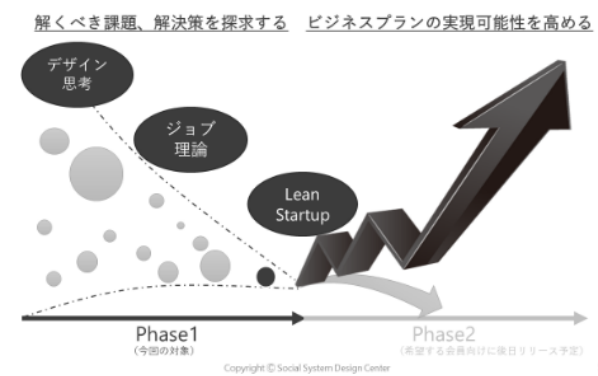
プログラムの目的

目的	内容
プログラム全体	事業創造のノウハウを学び、社会を豊かにする事業を生み出す
Phase1	解くべき課題、解決策を探求する

事業創造デザインプログラムの目的



事業創造デザインプログラムの全体像

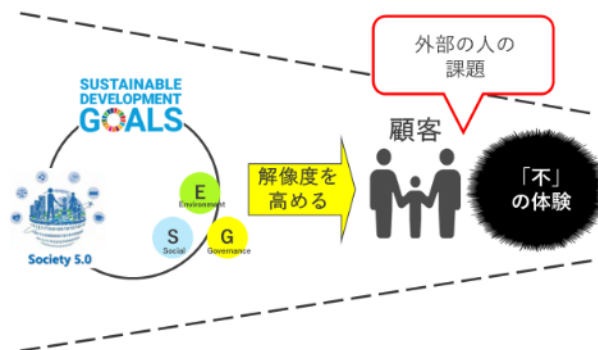


テーマ選定の方法

身近な人の課題からの
事業アイデア発想



テーマ選定の方法



2. プログラム実施概要

本プログラムは、2019 年 10 月 25 日（金）の Day1 から 12 月 24 日（火）の Day7 までの約 2 ヶ月間に渡るものである。第 1 期の法人正会員および学生会員からの参加者は 9 名であった。

プログラム実施概要

項目	内容
名称	事業創造デザインプログラム（第 1 期）Phase1
日程	全 7 回。最終日となる Day7 は Demoday として参加チームのプレゼンテーションを実施。 ・ Day1 2019 年 10 月 25 日（金）10：00～18：00 ・ Day2 2019 年 10 月 26 日（土）10：00～18：00 ・ Day3 2019 年 11 月 8 日（金）10：00～18：00 ・ Day4 2019 年 11 月 22 日（金）10：00～18：00 ・ Day5 2019 年 11 月 23 日（土）10：00～18：00 ・ Day6 2019 年 12 月 13 日（金）10：00～18：00 ・ Day7 2019 年 12 月 24 日（火）10：00～12：00
会場	〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷綱ビル 9F 一般社団法人 社会システムデザインセンター セミナールーム内
参加対象者	SSDC 法人正会員および学生会員の「次世代の担い手」を対象に、求める人物像としては、以下のように定義した。 ・ 自らが仲間と刺激しあい、目標に向かって挑戦し続けられる人 ・ フィールドワーク、ホームワークに全力で取り組める人 ・ 社会に貢献する新たな価値を創り出す熱意のある人 ・ 自分の会社の事業を発展させ、社会課題解決に結びつけたい人 第 1 期では 9 名（社会人 6 名、学生 3 名）が参加し、2 チーム構成でプログラムを開始。
参加者所属先	（順不同） ・ サイバーソリューションズ株式会社（2 名） ・ ジェイズ・コミュニケーション株式会社（1 名） ・ ネットワンシステムズ株式会社（1 名） ・ レノボ・ジャパン株式会社（2 名） ・ 明治大学（3 名）
特記事項	本プログラムのプログラムアドバイザーとして、以下の方に監修頂いた（敬称略）。 ・ 堤 孝志（ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社代表取締役／ベンチャーキャピタリスト） ・ 高柳 浩（公立はこだて未来大学客員教授） ・ 清水 剛（Application Architect）

事業創造デザインプログラム（第1期）Phase1 カリキュラムおよび全体像



Phase1のカリキュラム

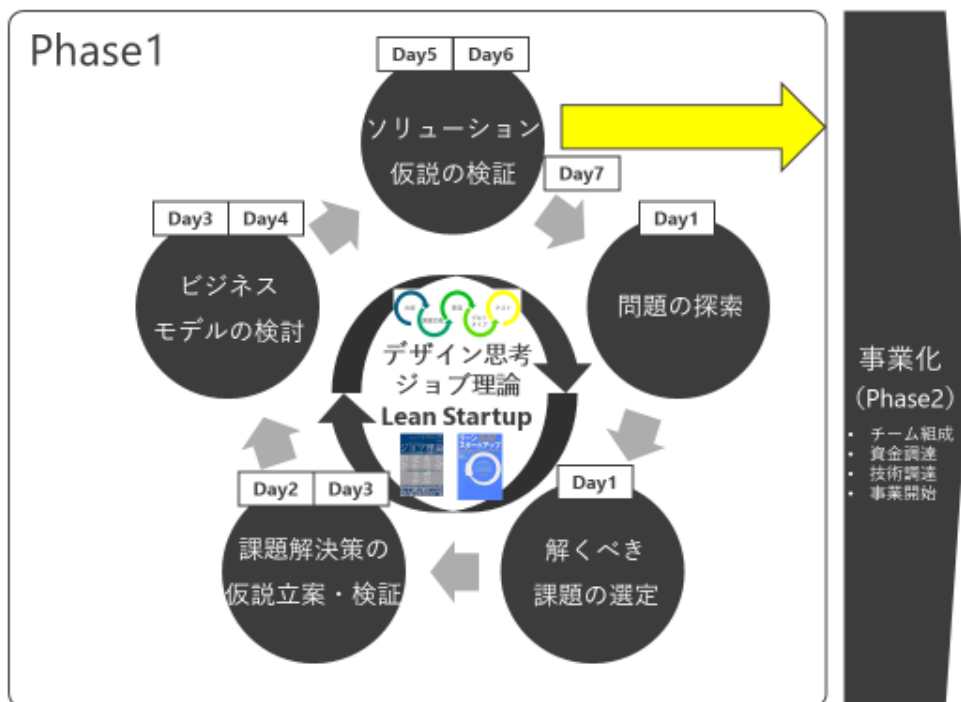
DAY	タイトル	内容	日程	時間
Day1	解くべき課題を選定する	- 顧客の問題を探索する - 顧客を観察して理解を深める - 顧客の解くべき課題を定義する	10/25（金）	10:00～18:00
Day2	課題解決策の仮説を考える	- 顧客の課題を解決するアイデアを考える - チームで取り組むアイデアを選択する - アイデアを具体化しテストする - 新たな顧客を見つけるための準備をする	10/26（土）	10:00～18:00
フィールドワーク		チームによる顧客へのインタビュー	10/27～11/7	-
Day3	仮説を検証する	- 外部インタビュー結果を整理する - 課題仮説を検証・修正する - ソリューション仮説を検証・修正する - 初期のビジネスモデルを考える	11/08（金）	10:00～18:00
宿題		初期MVP作成に向けた予習を行う	11/9～11/21	-
Day4	ビジネスモデルを考える	- ソリューション案を具体化する - 初期のビジネスモデルを考える	11/22（金）	10:00～18:00
Day5	初期MVPを構築する	- 初期MVPを構築する - ソリューションインタビューの準備をする	11/23（土）	10:00～18:00
フィールドワーク		チームによる顧客へのインタビュー	11/24～12/12	-
Day6	プレゼンテーションの準備を行う	- ソリューションインタビュー結果と考察を共有する - プレゼンテーションの構成を考える - プレゼンテーションの準備を行う	12/13（金）	10:00～18:00
Day7	成果報告会	- プレゼンテーションを行う - 懇話会	12/24（火）	10:00～11:00

Copyright © Social System Design Center

8



Phase1の全体像



Copyright © Social System Design Center

7

3.Day1 実施報告

Day1 は以下の通り実施した。

なお、事前課題として、各参加者に対して日常生活の中で感じる不満・不便・不快などを一覧化した「『不』の体験リスト」を提出してもらい、その内容を相互にインタビューする過程で課題設定していく手法を採った。

Day1 実施概要

項目	内容	
日時	Day1 2019年10月25日（金）10：00～18：00	
会場	〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷綱ビル 9F 一般社団法人 社会システムデザインセンター セミナールーム内	
参加者	8名（社会人5名、学生3名）※業務都合により1名欠席	
概要	1. イントロダクション	・ 代表理事（牧田）より開催挨拶 ・ プログラム説明（目的、カリキュラム、ルール等） ・ 自己紹介、チームビルディング ・ 問題解決のためのデザイン思考レクチャー
	2. 顧客の問題を探索する	・ 顧客の「不」の体験リストを俯瞰する ・ 顧客の「不」の体験について質問する ・ チームで取り組みたい「不」の体験を3つ選ぶ ・ チームで取り組む「不」の体験を1つに絞る
	3. 顧客を観察して理解を深める	・ 顧客の状況を把握するため、「不」の体験についてインタビューを行う ・ 顧客の体験を可視化するため、「Customer Journey Map～Before～」を作成する ・ 顧客に対するインサイト（新たな発見）を得るため、「Jobs To Be Done」を作成する
	4. 顧客の解くべき課題を定義する	・ 解決策を検討する着眼点を作るため、「課題定義シート」を作成する ・ 顧客の解くべき課題を発表する
	5. まとめ	・ Day1 の内容振り返り、次回のリーダー指名、宿題
	6. 懇親会	・ 参加者および運営メンバーによる懇親会
アウト プット	・ Customer Journey Map～Before～：顧客体験の変遷をマッピングしたシート ・ Jobs To Be Done：顧客の欲求（ジョブ）および付帯状況を整理したシート ・ 課題定義シート：解くべき課題を整理・言語化したシート	

Day1 当日の様子



フレームワーク：課題定義シート チーム名: A

恋人と何年かして3年、25歳、~~女性~~ サリマン さんは

恋人との記念品をプレゼントしたい。 (の) 方法を求めている
~~プレゼントを渡す (プレゼント)~~ 相手の気持ちと関係性

なぜなら 相手の気持ちと関係性が大切だから。 からだ
 驚くべきことに

考慮すべき点には 歳と建てる予定があり、
 結婚と交際が関係にあること。 がある

※このフレームワークは、アントレプレナーズ・ラボの事業創造デザインプログラムで開発されたものです。

フレームワーク：課題定義シート チーム名:

女子大生2人の藤田さん さんは

毎日のシーンに合わせてプレゼント (の) 方法を求めている

なぜなら 準備が簡単で、かわいく、
 最近のトレンドを反映させる からだ
 驚くべきことに

考慮すべき点には 必ずしも必要とわかっていない、
 100円以下で済ませたい がある

※このフレームワークは、アントレプレナーズ・ラボの事業創造デザインプログラムで開発されたものです。

4.Day2 実施報告

Day2 は以下の通り実施した。

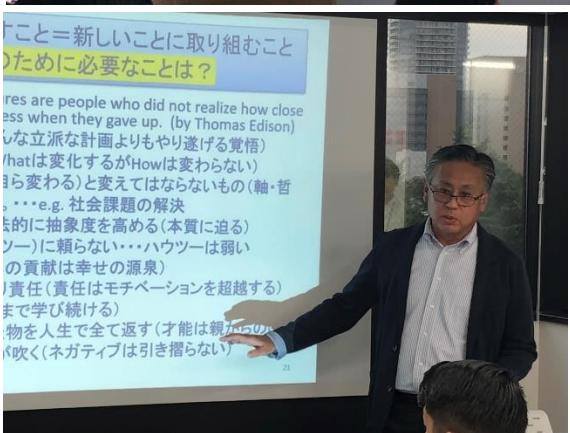
AM は特別ゲストの岩尾様（明治学院大学経済学部国際経営学科 専任講師／東京大学大学院情報理工学系研究科 客員研究員）に特別講義を行って頂き、ビジネスモデルを検討する上での新たな視点をレクチャー頂いた。

また、PM には特別ゲストの由利様（テクマトリックス株式会社 代表取締役社長）に特別講演を実施頂き、「IT 業界において経営者として学んだこと（戦略と本質）」というテーマで、外部環境変化に対応した事業の変遷およびビジネスパーソンに必要なマインドセットをお話頂いた。

Day2 実施概要

項目	内容
日時	Day2 2019 年 10 月 26 日（土）10：00～18：00
会場	〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷綱ビル 9F 一般社団法人 社会システムデザインセンター セミナールーム内
参加者	7 名（社会人 5 名、学生 2 名）※業務都合により 1 名、体調不良により 1 名欠席
特別 ゲスト	・ 岩尾 俊兵 様（※1）（明治学院大学経済学部国際経営学科 専任講師／東京大学大学院情報理工学系研究科 客員研究員） ・ 由利 孝 様（※2）（テクマトリックス株式会社 代表取締役社長／SSDC 個人正会員）
概要	1. 顧客の課題を解決するアイデアを考える ・ 新たな視点でアイデアを考えるため、ビジネスモデル囲碁、ビジネスモデルナビゲーターを使う（※1 岩尾様） ・ 課題を解決するアイデアを考えるため、ブレインストーミングを行う
	2. チームで取り組むアイデアを選択する ・ アイデアのヒントを得るため、顧客からアイデアに対してコメントを貰う ・ チームで取り組むアイデアを 1 つに絞る
	3. アイデアを具体化しテストする ・ 顧客からアイデアに対するフィードバックを貰うために、ソリューション概要図、コンセプトシートを作成する ・ ソリューション案を磨き上げるために、発表（テスト）する
	特別講演 ・ IT 業界において経営者として学んだこと（戦略と本質）（※2 由利様）
	4. 新たな顧客を見つけるための準備をする ・ 解決策を検討する着眼点を作るため、「課題定義シート」を作成する ・ 顧客の解くべき課題を発表する
	5. まとめ ・ Day2 の内容振り返り、次回のリーダー指名、宿題
アウ ット プット	・ ソリューション概要図 ・ コンセプトシート ・ インタビューシート

Day2 当日の様子



5.Day3 実施報告

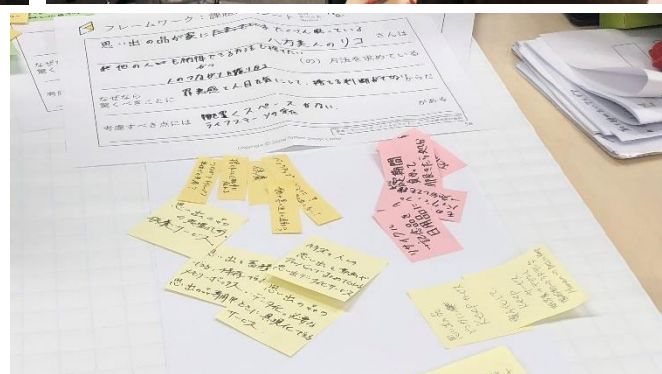
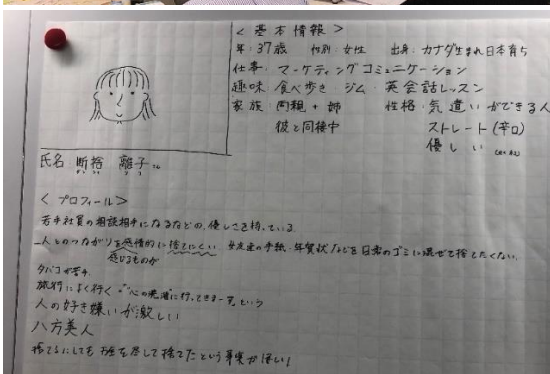
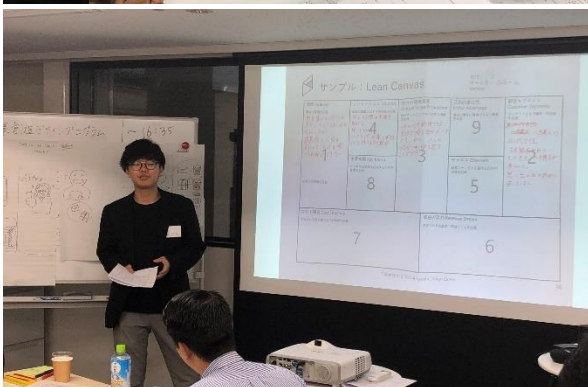
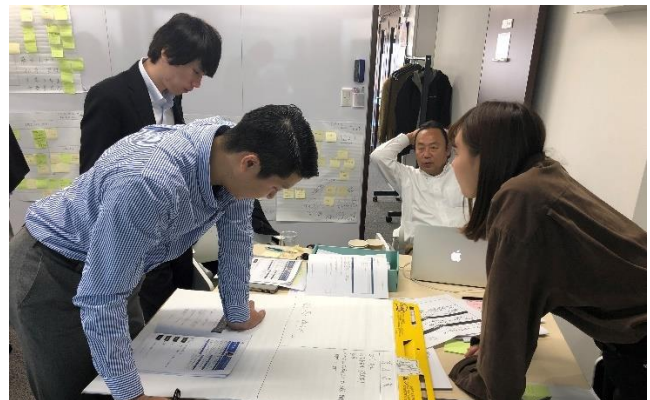
Day3 は以下の通り実施した。

なお、Day2 後から Day3 までの約 2 週間で、デザイン思考を活用したマーケットイン型アプローチの観点から、各チームに宿題を課した。各チームは定義した課題の存在有無を検証するため、外部インタビュー（目標：1 チーム 20 名）を行った。Day3 ではそのインタビュー結果を下敷きとして進めた。

Day3 実施概要

項目	内容	
日時	Day3 2019 年 11 月 8 日（金）10：00～18：00	
会場	〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷綱ビル 9 F 一般社団法人 社会システムデザインセンター セミナールーム内	
参加者	8 名（社会人 5 名、学生 3 名）※業務都合により 1 名欠席	
概要	7. 外部インタビュー結果を整理する	・ インタビューでの学びをチームで共有する ・ チームメンバーの外部インタビュー結果を把握するため「インタビュー結果シート」を俯瞰する ・ アーリーアダプター候補を選定し、Jobs To Be Done を作成する ・ ニーズのメカニズムを比較しながら、代表的なアーリーアダプターを選定する
	8. 課題仮説を検証・修正する	・ インタビュー結果（プロフィール）をもとに、ペルソナを修正する ・ インタビュー結果（課題インタビュー）をもとに、課題定義シートを見直し、修正する
	9. ソリューション仮説を検証・修正する	・ 修正した課題仮説をもとに、ソリューション概要図、コンセプトシートを見直し、修正する
	10. 初期のビジネスモデルを考える	・ Lean Canvas の目的と構成要素を知る ・ Lean Canvas の「課題」「ソリューション」「価値提案」「顧客」を埋める ・ 作成した Lean Canvas を発表する ・ MVP 作成に向けて、MVP の概要を理解する
	11. まとめ	・ Day3 の内容振り返り、次回のリーダー指名、宿題
アウトプット	・ Jobs To Be Done (v2, v3)：顧客の欲求（ジョブ）および付帯状況を整理したシート ・ ペルソナシート (v2)：複数顧客の共通属性から、代表的な顧客像を可視化したシート ・ 課題定義シート (v2)：解くべき課題を整理・言語化したシート ・ ソリューション概要図 (v2)：ソリューションの提供価値を図式化したシート ・ コンセプトシート (v2)：ソリューションの提供価値を言語化したシート ・ Lean Canvas (v1)：初期のビジネスモデルを体系的に言語化したシート	

Day3 当日の様子



6.Day4 実施報告

Day4 は以下の通り実施した。

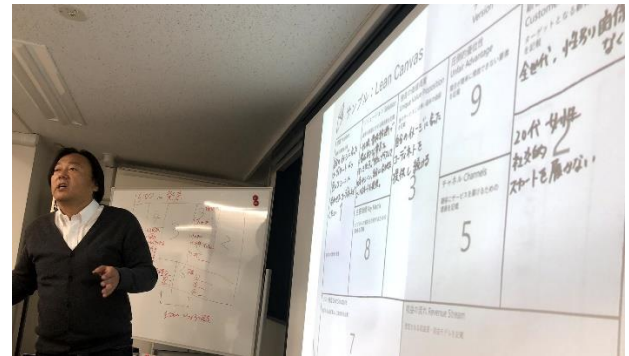
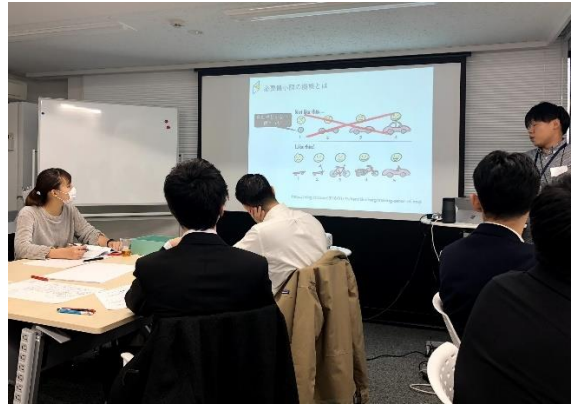
なお、Day3 後から Day4 までの約 2 週間で、Lean Startup を活用したプロダクトアウト型アプローチの観点から、各チームに宿題を課した。各チームは MVP (Minimum Viable Product。価値検証のための必要最小限の機能をもつ製品) の概要について調査を行い、Day4 ではその調査結果を下敷きとして進めた。

また、Day4 冒頭では特別ゲストの大森様(株式会社三菱総合研究所 取締役会長／SSDC 理事)に特別講演を実施頂いた。大森様からは、事業創造の「はひふへほ」(早く、広く、深く、平気、本気)と、ソーシャルドリブン(世の中にどのような絵を描き、Positive Surprise を起こせるか)といったお話を通して、ビジネスパーソンに必要なマインドセットをご教授頂いた。

Day4 実施概要

項目	内容	
日時	2019 年 11 月 22 日 (金) 10:00~17:00	
会場	〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷綱ビル 9F 一般社団法人 社会システムデザインセンター セミナールーム内	
参加者	8 名 (社会人 5 名、学生 3 名)	
特別 ゲスト	大森 京太 様 (株式会社三菱総合研究所 取締役会長／SSDC 理事)	
概要	12. ソリューション案を具体化する	- MVP を作成する目的、概念を理解する - 初期 MVP の概要を考えるため、MVP Planning Canvas を作成する
	13. 初期のビジネスモデルを考える	- Lean Canvas の構成要素を理解する - Lean Canvas の「チャネル」「収益の流れ」「コスト構造」「主要指標」「圧倒的優位性」の要素を考え・記載する - Lean Canvas、MVP Planning Canvas を発表する
	14. まとめ	Day4 の内容振り返り、次回のリーダー指名、宿題
アウ ット プット	- MVP Planning Canvas - Lean Canvas v2	

Day4 当日の様子



7.Day5 実施報告

Day5 は以下の通り実施した。

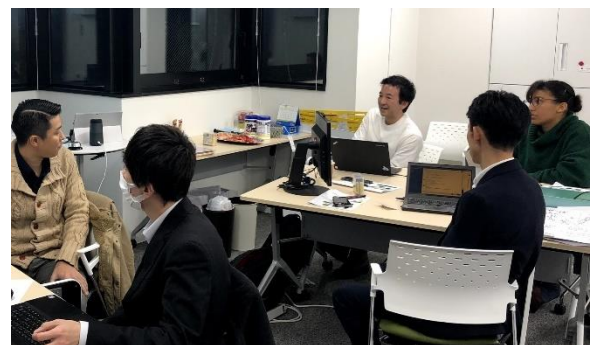
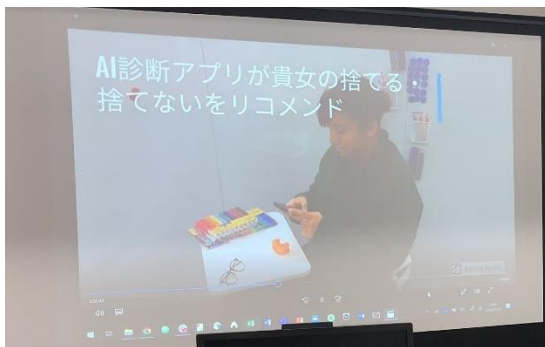
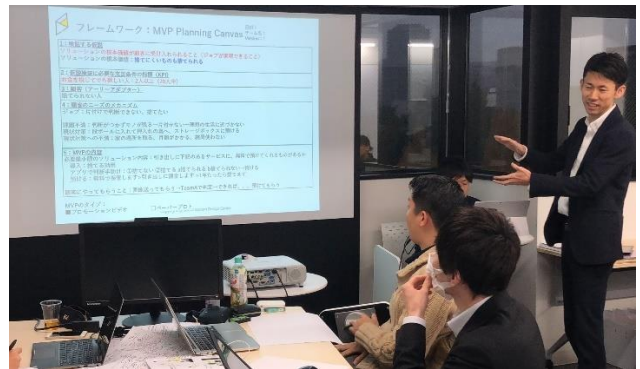
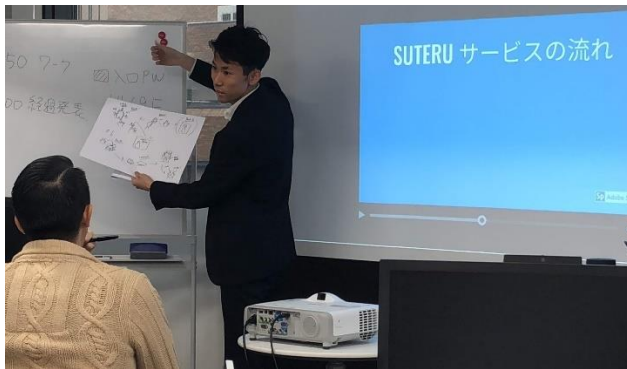
各チームは前日作成したプランをもとに初期 MVP (Minimum Viable Product。価値検証のための必要最小限の機能をもつ製品) の構築を行った。プログラムを通して反復的に仮説検証を行う中で、顧客の課題およびソリューションが提供する根本価値についての磨き上げを行いつつある。

なお、Day6 に向けての 3 週間の間に、各チームでは作成した初期 MVP を使い、外部へのソリューションインタビューを実施する。このため、インタビュー候補やヒアリング項目の準備作業も行った。

Day5 実施概要

項目	内容	
日時	2019 年 11 月 23 日 (土) 10:00~18:00	
会場	〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷綱ビル 9F 一般社団法人 社会システムデザインセンター セミナールーム内	
参加者	6 名 (社会人 4 名、学生 2 名) ※都合により 3 名欠席	
概要	1. 初期 MVP を構築する	- 初期 MVP を構築する - 初期 MVP の中間発表を行う
	2. ソリューションインタビューの準備をする	- ソリューションインタビューの準備をする - インタビュー内容を発表する
	3. まとめ	Day5 の内容振り返り、次回のリーダー指名、宿題
アウト プット	- 初期 MVP - ソリューションインタビュー候補者リスト - ソリューションインタビューヒアリングシート	

Day5 当日の様子



8.Day6 実施報告

Day6 は以下の通り実施した。

なお、Day5 後から Day6 までの約 3 週間で、Lean Startup を活用したプロダクトアウト型アプローチの観点から、各チームに宿題を課した。各チームは Day5 で作成した初期 MVP (Minimum Viable Product。価値検証のための必要最小限の機能をもつ製品) をもとに外部インタビューを行い、Day6 ではそのインタビュー結果を下敷きとして進めた。

また、講義の間では青柳勝栄様 (明治大学理事) にお話をいただいた。青柳様からは、事業を作りだせる人とそうでない人の違い、「悩み抜く」経験の大切さについて、ご自身の経験をもとにしてビジネスパーソンに必要なマインドセットをご教授頂いた。

Day6 実施概要

項目	内容	
日時	2019 年 12 月 13 日 (金) 10:00~18:00	
会場	〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷綱ビル 9F 一般社団法人 社会システムデザインセンター セミナールーム内	
参加者	9 名 (社会人 6 名、学生 3 名)	
概要	1. ソリューション インタビュー結果と考察を共有する	・ ソリューションインタビュー結果を考察する ・ ソリューションインタビュー結果と考察を発表する
	2. プレゼンテーションの構成を考える	・ 成果報告会、プレゼンテーションの概要を理解する ・ プレゼンテーションの構成を考える ・ プレゼンテーションの演習を行う
	3. プレゼンテーションの準備を行う	・ プレゼンテーションの演習を行う ・ 成果報告会のリハーサルを行う ・ フィードバックをもとにプレゼンテーションの内容を修正する
	4. まとめ	・ Day6 の内容振り返り、宿題
アウト プット	・ プレゼンテーション資料	

Day6 当日の様子



9.Day7 実施報告

Day7 は成果報告会として、SSDC 関係各位にご参加頂く形で実施した。

内容としては、参加 2 チームによるプレゼンテーションをはじめ、第 1 期プログラムの活動報告のほか、プログラムアドバイザーによる講話、代表理事による全体講評および修了式などをおこなった。プレゼンテーションの目的は以下の 3 点とした。

- ・チームで検討したソリューションアイデアの報告
- ・プログラムを経験して得た学び、気付きの報告
- ・皆様からのフィードバック

なお、SSDC 理事・アドバイザー・正会員・関係各位に幅広くご来場いただき、総数は計 30 名を超えた。

Day7 実施概要

項目	内容	
日時	2019 年 12 月 24 日（火）10：00～12：00	
会場	〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷綱ビル 9 F 一般社団法人 社会システムデザインセンター セミナールーム内	
参加者	受講生 9 名（社会人 6 名、学生 3 名） および SSDC 理事・アドバイザー・正会員・関係各位	
概要	1. 成果報告会	・ 第 1 期プログラム活動報告&成果報告会概要説明 ・ 参加 2 チームによるプレゼンテーション（1 チーム 15 分×2） A Team  B Team  ・ ファシリテーターによるまとめ ・ プログラムアドバイザーによる講話 ・ SSDC 代表理事による全体講評&修了式
	2. 懇親会	・
アウット プット	・ 成果報告プレゼンテーション	

Day7 当日の様子



以上